

あなたの住まいの相談窓口

家庭のエネルギー消費のうち、冷暖房、給湯設備、照明等が占める割合はそれぞれ約3割となっています。エネルギー消費を抑えた「省エネ住宅」で、健康で環境にもやさしい快適な暮らしをしてみませんか？



湖国すまい・まちづくり推進協議会事務局

(一般財団法人滋賀県建築住宅センター内)

☎ 077-569-6501



相談時間 AM9:00 ~ PM5:00 月~金(祝日除く)

すま協



湖国すまい・まちづくり推進協議会では、住宅建築・リフォーム、住まいの省エネルギー化など住まいづくりに関する**無料相談**をしています。お気軽にご相談ください。



毎月の光熱費が高い
結露・カビがひどい
冬になると足元が寒い
どうしたらいいの？

あなたの
お悩みを
解決します!



省エネ住宅ってどんなの？

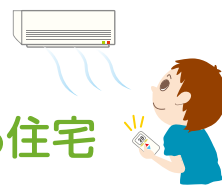
次の2つの視点から、省エネ性能を確保した住宅のことです。

① 住まいの中の熱(温度)が外に伝わりにくい住宅



☑ 家の中の暖かさや涼しさを保ちます

② エネルギーを効率的に使える住宅



☑ 高効率の設備で省エネにつながります

どんなメリットがあるの？

健康な暮らし

- ☑ 廊下やトイレも寒くなりにくくヒートショック*の予防につながります。
- ☑ アレルギーや血圧変動等の症状の緩和につながるとの調査結果が発表されています。

*ヒートショックとは、暖かい部屋から寒い部屋への移動や急激な温度の変化にさらされて、血圧が大きく変動することにより、失神したり心筋梗塞などの血管の病気を引き起こすことです。

環境にやさしい

- ☑ 省エネ性能の高い冷暖房、給湯設備などを使うことで、環境に優しい暮らしができます。
- ☑ 太陽光発電などでエネルギーを作り出すことができれば、より省エネにつながります。

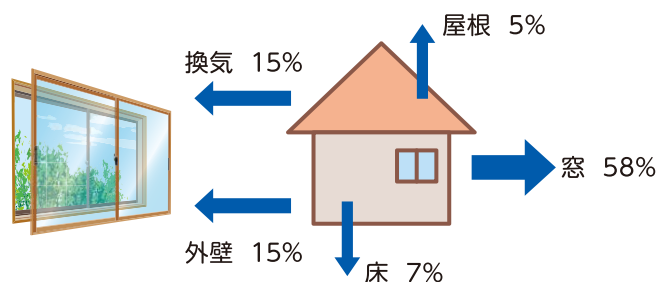
住宅の省エネ性能を上げるにはどうしたらいいの？

- ☑ まずは、住宅の中で特に外との熱の出入りが多い「開口部(窓)」を、樹脂サッシやペアガラスに改修すると、断熱効果が高まると考えられます。

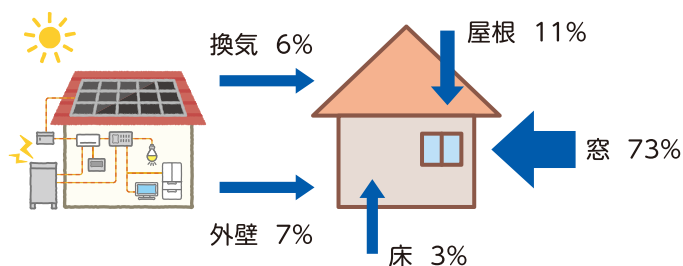
- ☑ 住宅全体の断熱性能を上げるのであれば、窓だけでなく「外壁」「天井・屋根」「床」の改修をまとめて行う方法もあります。

- ☑ 冷暖房、換気、照明、給湯の設備を高効率化したり、太陽光発電で創エネをすることで、エネルギー消費を抑えることができます。

【冬の暖房時に外に熱が逃げる割合の例】



【夏の冷房時に外から熱が入る割合の例】



< 出典 (一社) 日本建材・住宅設備産業協会 >